

令和7年3月3日 定例教育委員会 会議録

1 開催日時及び場所

・令和7年3月3日（月） 14時30分 ～15時15分

・県庁17階 1703会議室

2 出席者

教育長	堀 貴 雄	事務局職員	
委員	竹 中 裕 紀	副教育長	富 田 剛
委員	村 上 啓 雄	教育次長	中 川 敬 三
委員	市 川 祥 子(Web)	義務教育総括監	青 木 孝 憲
委員	打 江 記 代(Web)	総合教育センター長兼 教育研修課長	丸 山 早 苗
委員	吉 田 香央里	教育総務課長	野 中 正 史
		教育総務課教育主管	秋 場 毅
		教育総務課教育主管	三 島 晃 陽
		義務教育課長	山 田 高 秀
		高校教育課長	棚 橋 武 司
		特別支援教育課長	服 部 秀 明
		体育健康課長	浦 野 善 裕
		学校安全課長	酒 井 猛
		学校安全課生徒指導企画監	那 須 貴

3 議事日程等

報第1号、議第1号、議第2号、事務局報告(政策)(2)について、非公開とすることを決定

4 会議録

令和7年2月14日開催の定例教育委員会の会議録を承認

5 審議の概要

別添のとおり

会 議 録

発 言 者	発 言 内 容
<p>事務局報告（政策） （1）アクションプラン2025の策定について</p>	
<p>特別支援教育課長</p>	<p>県の特別支援教育に関する推進計画である「第4次子どもかがやきプラン」に位置付けられた政策のうち、令和7年度に主に実施する取組みをまとめた「アクションプラン2025」について報告する。</p> <p>アクションプランの策定にあたって、有識者、特別支援学校や小中学校特別支援学級の代表保護者、小中学校等の代表校長で構成する、第4次子どもかがやきプラン推進委員会を今年度3回開催し、意見を伺った。</p> <p>政策Ⅰについての主な意見は、特別支援学校設置基準を踏まえた学習環境の整備や高等特別支援学校機能の未設置地域への整備を進めてほしいというご意見をいただいた。</p> <p>政策Ⅱについては、高等学校における「通級による指導（巡回型）」の充実や、視覚障がいのある児童生徒、医療的ケアを必要とする児童生徒の学びの充実を図ってほしいというご意見をいただいた。</p> <p>政策Ⅲについては、特別支援教育を支える教員の専門性の向上が必要であるというご意見をいただいた。これらのご意見を踏まえ、「アクションプラン2025」を策定した。</p> <p>「アクションプラン2025」の主な取組みについてポイントを絞って説明する。</p> <p>政策Ⅰの「学びを支える環境の整備」について、岐阜本巣特別支援学校の教室不足解消に向け、南館棟の未改修部分の内部改修を進める。また、郡上特別支援学校については、1校舎体制への移行に向けた調査を行い、関係機関等と連携して整備方法等の検討を進める。「特別支援学校児童生徒の通学支援」については、通学途中に医療的ケアを必要とする児童生徒の通学支援モデル事業を実施する。</p> <p>続いて、政策Ⅱの「発達障がいのある児童生徒の学びの充実」については、西濃、東濃地域において、通級担当教員が高校へ出向いて指導を行う「巡回型の通級による指導」を開始する。「視覚障がい・聴覚障がいのある幼児児童生徒の学びの充実」については、小中学校に在籍する弱視の児童生徒に対して、岐阜盲学校職員による通級指導を開始する。「社会へつなぐ職業教育・就労支援の充実」については、職業教育担当者会において、作業学習の公開授業を通して授業について意見交換等を行い、生徒の働く力を育成する学習内容の充実を図っていく。「医療的ケアを必要とする児童生徒の学びの充実」については、医療的ケアを必要とする児童生徒が修学旅行等の泊を伴う学習活動に安全安心に参加できるよう、看護師が同行し医療的ケアを行う。</p> <p>続いて、政策Ⅲの「研修等の充実による教員の専門性向上」については、幼・小・中・高等学校等の管理職を対象に特別支援教育の理解の推進を図る研修を実施し、校内の支援体制の構築を図っていく。また、高校における特別支援教育の推進を図るため、各校の特別支援教育コーディネーターを対象に研修を実施する。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>「アクションプラン2025」の政策Ⅰの郡上特別支援学校について補足する。</p> <p>ご存じのように、郡上特別支援学校は、以前、講師の自死があった学校である。現在、小学部と中学部は大和に校舎があり、高等部は那比に校舎があるという2校舎体制をとっているが、遺族と和解をする中で1校舎体制にしてほしいという要望があった。大和という非常に山が多い地域への移行を検討してきたが、今回、大間見にしようということで、来年度の当初予算として、調査の予算を計上している。ようやく場所の目途をつけて動き出すという方向になっている。</p>

打江委員	<p>「アクションプラン2025」について、とてもよいプランだと思う。その中で、「インクルーシブ教育のシステムが主体的に運用されること」ということが初めに書いてある。インクルーシブを考えると、周りの生徒の理解がとても大事だと思うが、例えば、他校との交流についてはどのように行っていくのかをお聞きしたい。</p> <p>もう1点、「社会へつなぐ職業教育・就労支援の充実」について、職業教育担当者会を作られたことはとてもよいことだと思うが、企業はどういう人を求めているのかを担当の先生が理解していないと就労に繋がらないと思うので、担当の先生が現場へ出向いて企業の話聞き、今、企業ではどんな人が必要とされているのか、どんな作業が必要とされているのかということについて、ぜひ、交流していただきたい。</p>
特別支援教育課長	<p>保護者や本人の希望にもよるが、小中学部に在籍している児童生徒については、居住地の学校を中心とした交流籍を置いて地元の学校と交流し、周りの友達との関わりを深めていくという「交流及び共同学習」を行っている。その手続きがスムーズに行うことができるよう、複雑な手続きを簡略化し、4月、5月の早い時期から「交流及び共同学習」が進められるように準備をしている段階である。</p> <p>また、特別支援学校と高等学校や、特別支援学校と近くの小中学校など、校種の違う学校同士での交流も進めている。学びの場はそれぞれ違うが、同じ地域の仲間との学習という意味でのインクルーシブも進めていきたいと思っている。</p> <p>企業との交流についても、現場実習や校内作業実習等、企業のご協力をいただきながら、地域のインクルーシブも進めていきたいと思っている。</p> <p>2点目の職業教育については、来年度、職業教育担当者会を開催し、作業学習のあり方や指導の仕方などについて、その学校だけではなく、周りの学校の意見も聞きながら進めていく予定である。今年度、打江委員にもご出席いただいた「キャリアアップ推進委員会」は、比較的軽度の障がいがある生徒の職業教育の充実を中心とした会議であり、そこでは、高等特別支援学校の教育について進めてきた。今後は、企業の方にも担当者会に来ていただき、中・重度の生徒も含めた特別支援学校の授業も見ていただきながら、企業目線でアドバイスをいただけるとありがたいと思っている。</p> <p>現在、高等部の職員を中心に現場実習の巡回等を行っているが、小学部や中学部の職員についても、夏休み等を利用して企業を見学させていただき、小学部の段階から将来を見据えた指導を考えていきたいと思っている。</p>
<p>事務局報告（その他） （1）全国レベルの表彰について</p>	
教育総務課長	<p>全国レベルの表彰について報告する。</p> <p>1 ページ【スポーツ部門】は、1月に群馬県で開催された「第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会少年男子2000メートルリレー」において、中京高校3年の山内さん、今井さん、恵那農業高校3年の西尾さん、同じく恵那農業高校2年の森川さんのチームが3位に入賞されたものである。</p> <p>続いて2ページ【その他部門】の1番、2番は「令和6年度明るい選挙啓発ポスター中央審査」において、海津市立城山小学校1年の伊藤さんが「文部科学大臣・総務大臣賞」を、笠松町立笠松中学校3年の星野さんが、「公益財団法人明るい選挙推進協会会長・都道府県選挙管理委員会連合会会長賞」を受賞された者である。3番は「第45回全国高校生ホームプロジェクトコンクール」において、大垣東高校1年の安田さんが「優秀賞」を受賞されたものである。4番は「第22回金融と経済を考える高校生小論文コンクール」において、関商工高校3年の齋藤さんが特選5点のうちの1つの「文部科学大臣賞」を受賞されたものである。5番、6番は「第8回和牛甲子園取組評価部門」において、加茂農林高校生産科学科の皆さんが「最優秀賞」を、大垣養老高校動物科学科の皆さんが「優秀賞」を受賞されたものである。7番は「CG-ARTS検定高校・高専部門」において、岐阜各務野高校情報科の皆さんが「文部科学大臣賞」を受賞されたものである。8番は「観光甲子園2024地域探究部門」に</p>

	<p>において、海津明誠高校ビジネス情報科3年の皆さんが「準グランプリ」を受賞されたものである。9番は「第70回青少年読書感想文全国コンクール」において、華陽フロンティア高校1年の矢嶋さんが「毎日新聞社賞」を受賞されたものである。10番は「届けよう、服のチカラアワード2024」において、海津明誠高校生活デザイン科3年の皆さんが「最優秀賞」を受賞されたものである。11番、12番は「第51回全国造園デザインコンクール緑化フェア『みどりの広場』プラン部門」において、恵那農業高校園芸科学科2年の長尾さんが、1位にあたる「緑化フェア『みどりの広場』プラン賞（緑化機構賞）」を受賞、同じく恵那農業高校園芸科学科2年の西尾さんが2位に入賞されたものである。</p>
報第1号 職員の表彰について（非公開案件）	
<p>職員の表彰について諮り、承認された。 本件は非公開案件であるため、会議録は別途作成。</p>	
議第1号 職員の表彰について（非公開案件）	
<p>職員の表彰について諮り、可決された。 本件は非公開案件であるため、会議録は別途作成。</p>	
議第2号 年度末退職者表彰について（非公開案件）	
<p>年度末退職者表彰について諮り、可決された。 本件は非公開案件であるため、会議録は別途作成。</p>	
事務局報告（政策）	
（2）いじめに関する重大事態の調査報告について（非公開案件）	
<p>いじめに関する重大事態の調査報告について報告した。 本件は非公開案件であるため、会議録は別途作成。</p>	
その他 意見交換	
村上委員	<p>感染症については、インフルエンザの罹患者はかなり減り、現在、学校閉鎖・学級閉鎖はほとんどない。新型コロナウイルス感染症もくすぶってはいるものの、学校では、ほとんど流行がないということである。</p> <p>一方、最近、毎日のように報道されるノロウイルスによる食中毒は、学校給食でも大きな事案があったので、やはり、生徒には手洗いの徹底を、また、体調不良の給食当番や配膳の職員が無理しないようにということ、今一度、学校に徹底していただけるとありがたい。</p>
教育長	<p>明後日は高校入試である。年度末ということで、学校現場は、小・中・高・特別支援学校すべての学校が非常に緊張した日々送っている。そうした中で教員が1人でも欠けるとうまく運営できないことあるため、村上委員からアドバイスいただいたことを学校にも連絡しながら進めていきたい。</p>
閉会	
<p>15時55分、閉会を宣言する。</p>	